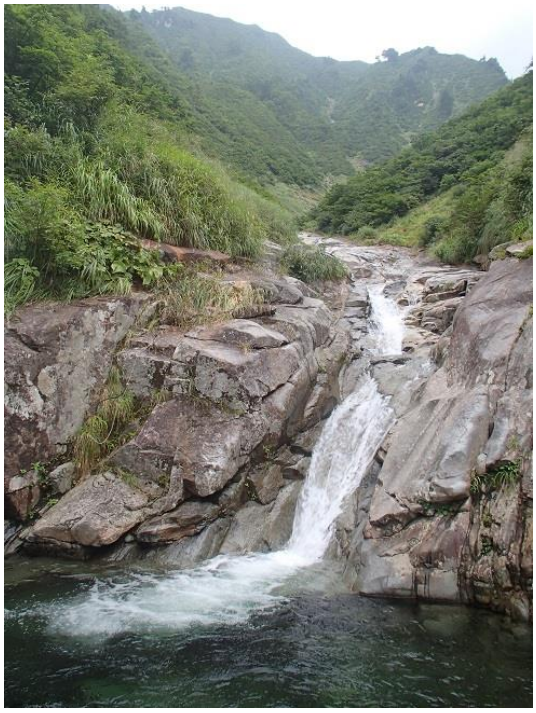
巻機山・三嵓沢　沢登り

2020年8月29日
メンバー：Ｔ野・Ｋ野・Ｔ山・Ｔ中ｍ・Ａ上



　思えば、ここ、三嵓沢は過去に何回計画したことか？そのたびに悪天候等で転進となり、なかなか相性の悪い沢であった。本来、このルートの旬は「錦秋の秋」、いわゆる紅葉シーズンである。しかし、いつも計画するたびに転進で、行けるときに行っとかなければ、何時行けるかわからないので、今回、夏真っ盛りであったが「まあ、暑ければ水に浸かればよいだろう。」と思い計画した。
　前夜、21:00に秋葉原を出発。やっぱり上越は近い！！日付変更線前に塩沢石打ＩＣで高速を降り「道の駅・南魚沼雪あかり」で今晩お世話になる。屋根付きの場所もありまあまあ快適だが駐車している車が近くエンジン音が気になる。耳栓などの防御策を考えた方が良いだろう。
　8/29
　清水部落の桜坂駐車場（￥500）まで車で走り、長丁場になりそうなので6:00出発。すぐに井戸尾根ルートと分かれて割引沢ルートに入り、850m付近で登山道が沢を渡るところで入渓。
　　明るい渓で、しばらく行くと早くもスラブの沢の本領発揮！！これで全て沢沿いを直登できれば最高だが、残念ながら我々にその力量はないので、ところどころ登山道に追い上げられながらの遡行になる。それでも、可能な限り沢沿いにルートを採れば結構楽しめる。特に吹上ノ滝～アイガメノ滝はスラブのスケールも大きく背後には天狗岩が聳え、絶景が我々を迎えてくれる。吹上の滝は右壁を問題なく登れ、アイガメノ滝の滝つぼでは釜に入ってヒートアップした体をクールダウン、「気持ちいい！！」
　アイガメノ滝はロープを使用すれば右壁を登れそうな雰囲気だったが、時間もかかりそうだし無理せずに右岸に付いている登山道を辿る。ただ、登山道とはいっても実にワイルド！！「エッ、これが登山道！！」という感じの代物で滝から離れずほぼ右壁伝いに登れるので快適に直登気分が味わえる。

■写真上　入渓してすぐにこんな景色が展開する。
■写真下　絶景！！天狗岩とスラブの沢のコラボ！！

　割引沢出合の二俣（1072m）でヌクビ沢（右俣）に入り単調なゴーロをしばらく行くと布干岩と呼ばれる真っ白なスラブが現れる。ここは右から取付き、左側に移ってスタスタ登れるが、ツルっとした一枚岩なので濡れている時はスリップに気をつけて慎重に登った方が良いだろう。再びゴーロとなりしばらく歩くと三嵓沢の出合（1210m）。
　左俣のヌクビ沢には15mクラスの行者の滝が懸かり、三嵓沢は6m滝が落ちている。三嵓沢に入るとスケールが小さくなり、景観的には普通の沢になったが、登攀的には登れる滝が連続して面白くなってくる。
　最初の6m滝は右壁を登る。ホールドスタンスとも豊富だが滑ってる場所もあるので慎重に登る。次の

10mは左から問題なく登る。さらに滝が続き右壁から取り付き一段上がったところで左壁に移って登るときれいなナメ床が現れ、米子沢のミニチュア版のような渓相になる。(ただしこれは短くあっという間に終わる。)

さらに1：2の二俣の上の2段8m滝、ここも直登しようと思ったが一歩に自信が得られず、左岸の枝沢から巻き、堰堤状の5m滝を左から登ると沢は落ち着きゴーロが続くようになる。ただ、これがまたずっと先まで見渡せてしまい思わずゲンナリ・・・黙々と高度を稼ぐ。

左岸の枝沢から冷たく美味しい水が落ちるところで水も涸れ､｢もう終わりかな｣と思っていると再び傾斜がきつくなり、涸滝のプチゴルジュ状の連瀑帯が現れる。それなりにテクニカルな滝もあり一つ一つ丁寧に登って行くが、登攀的にはここが一番面白かった。

さて、この連瀑帯を越えると後は体力勝負・・・！！といってもその肝心な体力がない我々にはここからが結構きつかった。左側が草原となり、右側からは登山道にいる登山者の声が間近に聞こえるようになり、右の斜面が藪から笹に変わる1780m付近から登山道に向けてトラバースする。思った通りきつい藪漕ぎはなく15分くらいの笹漕ぎで登山道に合流。最初からピークを目指す気はサラサラないのでここで靴を履き替え、沢装備をザックに仕舞い、重くなったザックで膝を気遣いながらゆっくりと井戸尾根を下山。

5合目までがかなり遠く感じて先が思いやられたが、3合目の下に2合目も1合目もなく、その前に桜坂の駐車場が現れた。暑さで結構ヘロヘロだったのでこれはホント嬉しい誤算！！大充実の10時間を超える行動でしたが突然の幕切れでした。

帰路はいつも行く金城の里（￥350）の温泉で汗を流し、これまたいつも行く田畑屋（蕎麦が旨く定食はボリューム満点）で打ち上げをして帰京しました。

■写真上　吹上ノ滝、ここは右壁を快適に登る。
■写真中　雄大なアイガメノ滝､実際は写真より傾斜がある。
■写真下　アイガメノ滝の滝つぼでクールダウン！！

割引沢～三嵓沢はヌクビ沢出合までまで登山道が並走しているが､非常にワイルドな登山道なので助けられこそすれ､景観を邪魔する事もなく沢と融合するようにひっそりたたずんでいて全く気になりません｡むしろ登山道があることで素晴らしいスラブの沢を初級者レベルの沢登り技術でも充分満喫できるのが魅力です。

一方、登山道のない三嵓沢は、規模は小さいですが多くの滝を懸け、そのほとんどが楽しく直登できる沢です。隣にある米子沢は日本有数の美渓ですが割引沢～三嵓沢も雰囲気は違えど、いや、だからこそ米子沢に登った人にもぜひお奨めしたい沢だと思います。

■コースタイム

桜坂駐車場（6:00）～（6:50）入渓～（7:20）吹上ノ滝～（7:30）アイガメノ滝～（8:20）割引沢・ヌクビ沢出合～（8:55）布干岩～（9:10）三嵓沢出合～（13:30）稜線（14:00）～（16:20）桜坂駐車場

■写真上左　三嵓沢のＦ2、左壁を快適に登る。

■写真上右　三嵓沢中盤のナメ地帯。

■写真下　　笹薮を漕いで登山道に合流！！